

社会資本総合整備計画（活力創出基盤整備）事後評価書

平成27年11月25日

計画の名称	「東アジアに面する日本海ゲートウェイ」博多港の実現（防災・安全）						
計画の期間	平成22年度～平成26年度（5年間）			交付対象	福岡市		
計画の目標	九州・西日本地域の経済活動や市民生活を支え、我が国港湾の国際競争力強化に大きく貢献する拠点港湾「東アジアに面する日本海ゲートウェイ」博多港を目指し、「国際物流」「観光・交流」及び「環境」、さらには「防災・安全」の面において、港湾機能の充実・強化に取り組んでいく。						
1. 九州・西日本の経済活動や市民生活を支え、我が国港湾の国際競争力強化を図る国際物流拠点の形成。 2. 観光促進、日中韓交流を支える九州・アジアの海の玄関口の機能強化。 3. 自然と人が共生する港湾環境を創造する親水空間等の形成。							

計画の成果目標（定量的指標）	1. アイランドシティ地区の水深1.5m岸壁等と一体的に機能する臨港道路等の整備により、国際物流拠点の形成を進め、国際海上コンテナ貨物取扱量の増加を図る。 2. 中央ふ頭地区の国際ターミナル機能の充実強化等により、観光・交流拠点の形成を進め、外国航路船舶乗降人員の増加を図る。 3. みどりの整備により、自然と人が共生する港湾空間「エコパークゾーン」の形成を進める（港湾緑地、アマモ場等）。 4. 既存港湾施設について、適切な改良等を行うことにより、有効活用を図る。 5. 港湾施設の維持管理計画を策定し、計画的且つ適切な維持管理を図る。						
----------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--	--	--	--	--	--

定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値			備考
	当初現況値 (H21末)	中間目標値 (H24末)	最終目標値 (H26末)	
国際海上コンテナ貨物取扱量 (国際海上コンテナ貨物取扱量の増加率) = (評価時点の取扱量－現況の取扱量) / (現況の取扱量) (%)	66万TEU	85万TEU (29%増)	100万TEU (52%増)	
外国航路船舶乗降人員 (外国航路船舶乗降人員の増加率) = (評価時点の人員－現況の人員) / (現況の人員) (%)	63.6万人	90万人 (42%増)	100万人 (57%増)	
エコパークゾーンの整備（自然と人が共生する自然環境の保全創造や水辺環境の創出） (みどりの増加率) = (評価時点のみどりの面積－現況のみどりの面積) / (現況のみどりの面積) (%)	22ha	23ha (5%増)	25ha (14%増)	
港湾施設の改良等により有効活用が図られた施設数 (港湾施設の改良率) = (評価時点の改良済み施設数) / (改良が必要な施設数) (%)	0 (0%)	13 (30%)	44 (100%)	
長寿命化計画の策定 (長寿命化計画策定率) = (評価時点の長寿命化計画を策定した施設数) / (長寿命化計画を策定する全施設数) (%)	51 (52%)	99 (100%)	99 (100%)	

全体事業費	合計 (A+B+C)	2,983 百万円	A	2,875 百万円	B	0 百万円	C	108 百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	3.6%
-------	------------	-----------	---	-----------	---	-------	---	---------	---------------------------	------

事後評価

1. 交付対象事業の進捗状況 (○：計画期間中に完成 △：計画期間終了後に完成見込み(備考欄に完成予定時期を記入) -：その他(備考欄に具体的に記入(中止、未実施))

交付対象事業												
A2 港湾事業												
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	港湾種別	省略工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積・水深等)	港湾・地区名	進捗状況	備考
1-A2-1	港湾	内地	福岡市	直接	-	拠点	改良	須崎ふ頭西岸壁(-7.5m)改良	車止め取替え、電気防食 L=260m	博多港・須崎ふ頭地区	○	
1-A2-2	港湾	内地	福岡市	直接	-	拠点	改良	須崎ふ頭西岸壁(-5.5m)改良	車止め、防舷材取替え L=467m	博多港・須崎ふ頭地区	○	
1-A2-3	港湾	内地	福岡市	直接	-	拠点	改良	須崎ふ頭東岸壁(-7.5m)改良	車止め、防舷材取替え L=174m	博多港・須崎ふ頭地区	-	未実施
1-A2-4	港湾	内地	福岡市	直接	-	拠点	改良	須崎ふ頭東岸壁(-5.5m)改良	電気防食 N=111個	博多港・須崎ふ頭地区	-	未実施
1-A2-5	港湾	内地	福岡市	直接	-	拠点	改良	中央ふ頭東岸壁(-7.5m)改良	車止め取替え L=190m	博多港・中央ふ頭地区	-	未実施
1-A2-6	港湾	内地	福岡市	直接	-	拠点	改良	中央ふ頭東車揚場(-4.0m)改良	ポン打換L=244m、車止め取替L=190m	博多港・中央ふ頭地区	-	未実施
1-A2-7	港湾	内地	福岡市	直接	-	拠点	改良	東浜ふ頭西岸壁(-4.5m,-5.5m)改良	車止め、防舷材取替え L=280m	博多港・東浜ふ頭地区	○	
1-A2-8	港湾	内地	福岡市	直接	-	拠点	改良	東浜ふ頭北岸壁(-7.5m)改良	車止め、防舷材取替え L=351m	博多港・東浜ふ頭地区	-	未実施
1-A2-9	港湾	内地	福岡市	直接	-	拠点	改良	東浜ふ頭東岸壁(-7.5m)改良	車止め、防舷材取替え L=279m	博多港・東浜ふ頭地区	-	未実施
1-A2-10	港湾	内地	福岡市	直接	-	拠点	改良	博多ふ頭可動橋改良	部品取替、塗装塗替	博多港・博多ふ頭地区	○	
1-A2-11	港湾	内地	福岡市	直接	-	拠点	改良	箱崎ふ頭西側北1号物揚場(-4.0m)改良	車止め、防舷材取替え L=194m	博多港・箱崎ふ頭西側地区	-	未実施
1-A2-12	港湾	内地	福岡市	直接	-	拠点	改良	箱崎ふ頭岸壁(-12.0m)改良	車止め取替え L=294m	博多港・箱崎ふ頭地区	○	
1-A2-13	港湾	内地	福岡市	直接	-	拠点	改良	箱崎ふ頭岸壁(-10.0m)改良	車止め取替え L=90m	博多港・箱崎ふ頭地区	-	未実施
1-A2-14	港湾	内地	福岡市	直接	-	拠点	改良	箱崎ふ頭岸壁(-10.0m)②改良	車止め取替え L=90m	博多港・箱崎ふ頭地区	-	未実施
1-A2-15	港湾	内地	福岡市	直接	-	拠点	改良	箱崎ふ頭物揚場(-2.0m)改良	電気防食、塗覆塗装防食L=279m	博多港・箱崎ふ頭地区	-	未実施
1-A2-16	港湾	内地	福岡市	直接	-	拠点	改良	香椎かもめ大橋	照明灯具取替え 26基	博多港・香椎パークポート地区	○	
1-A2-17	港湾	内地	福岡市	直接	-	拠点	改良	須崎ふ頭那B-17号線道路改良	舗装全面補修 L=413m	博多港・須崎ふ頭地区	○	
1-A2-18	港湾	内地	福岡市	直接	-	拠点	改良	須崎ふ頭那B-14号線道路改良	舗装全面補修 L=155m	博多港・須崎ふ頭地区	○	
1-A2-19	港湾	内地	福岡市	直接	-	拠点	改良	箱崎ふ頭東防波堤改良	破損部打換え L=843m	博多港・箱崎ふ頭地区	-	未実施
1-A2-20	港湾	内地	福岡市	直接	-	拠点	改良	箱崎ふ頭西防波堤改良	破損部打換え L=1,274m	博多港・箱崎ふ頭地区	-	未実施
1-A2-21	港湾	内地	福岡市	直接	-	拠点	改良	博多ふ頭博A-6、A-7号道路改良	交差点改良 2箇所	博多港・博多ふ頭地区	○	
1-A2-22	港湾	内地	福岡市	直接	-	拠点	改良	香椎パークポート香A-1号道路改良	道路改良 L=480m	博多港・香椎パークポート地区	-	未実施
1-A2-23	港湾	内地	福岡市	直接	-	拠点	改良	博多港情報通信施設	情報通信施設 1式	博多港	○	
1-A2-24	港湾	内地	福岡市	直接	-	拠点	維持管理	博多港長寿命化計画	保留施設33件、防波堤13件、橋梁2件	博多港	△	H27
1-A2-25	港湾	内地	福岡市	直接	-	拠点	改良	中央ふ頭岸壁(-10.0m)改良	係船柱、防舷材設置 L=270m	博多港・中央ふ頭地区	○	
1-A2-26	港湾	内地	福岡市	直接	-	拠点	改良	能古浮き桟橋(-3.0m)改良等	安全対策施設の整備	博多港・能古、姪浜地区	○	
1-A2-27	港湾	内地	福岡市	直接	-	拠点	改良	箱崎ふ頭岸壁(-12.0m,-10.0m)改良	係船柱、防舷材設置 L=509m	博多港・箱崎ふ頭地区	△	H27
1-A2-28	港湾	内地	福岡市	直接	-	拠点	改良	須崎ふ頭那B-15号線道路改良	舗装全面補修 L=150m	博多港・須崎ふ頭地区	-	未実施
1-A2-29	港湾	内地	福岡市	直接	-	拠点	改良	須崎ふ頭那B-16号線道路改良	舗装全面補修 L=155m	博多港・須崎ふ頭地区	-	未実施
1-A2-30	港湾	内地	福岡市	直接	-	拠点	改良	須崎ふ頭那B-18号線道路改良	舗装全面補修 L=155m	博多港・須崎ふ頭地区	-	未実施

1-A2-31	港湾	内地	福岡市	直接	—	拠点	改良	香椎パークボート保安施設整備	フェンス L=400m 照明灯 10基	博多港・香椎パークボート地区	○	
1-A2-32	港湾	内地	福岡市	直接	—	拠点	改良	箱崎ふ頭A-2号線道路照明灯改良	照明灯建替え 11基	博多港・箱崎ふ頭地区	△	H27
1-A2-33	港湾	内地	福岡市	直接	—	拠点	改良	箱崎ふ頭A-11号線道路改良	舗装全面補修 L=190m	博多港・須崎ふ頭地区	—	未実施
1-A2-34	港湾	内地	福岡市	直接	—	拠点	改良	須崎ふ頭A-12号線道路改良	舗装全面補修 L=695m	博多港・須崎ふ頭地区	△	H27
1-A2-35	港湾	内地	福岡市	直接	—	拠点	改良	箱崎ふ頭A-7号線道路改良	舗装打換え L=750m	博多港・箱崎ふ頭地区	△	H27
1-A2-36	港湾	内地	福岡市	直接	—	拠点	改良	箱崎ふ頭B-9号線道路改良	舗装打換え L=140m	博多港・箱崎ふ頭地区	—	未実施
1-A2-37	港湾	内地	福岡市	直接	—	拠点	改良	箱崎ふ頭B-20号線道路改良	舗装打換え L=250m	博多港・箱崎ふ頭地区	—	未実施
1-A2-38	港湾	内地	福岡市	直接	—	拠点	改良	箱崎ふ頭B-17号線道路改良	舗装打換え L=380m	博多港・箱崎ふ頭地区	—	未実施
1-A2-39	港湾	内地	福岡市	直接	—	拠点	改良	箱崎ふ頭B-22号線道路改良	舗装打換え L=300m	博多港・箱崎ふ頭地区	—	未実施
1-A2-40	港湾	内地	福岡市	直接	—	拠点	改良	箱崎ふ頭B-6号線道路改良	舗装打換え L=400m	博多港・箱崎ふ頭地区	—	未実施

B 関連社会資本整備事業												
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	港湾・地区名	進捗状況	備考	
C 効果促進事業												
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	港湾・地区名	進捗状況	備考	
1-C-1	施設整備	内地	福岡市	直接	—	建設	旅客待合所等整備	安全対策施設の整備	博多港・能古, 姪浜地区	○		
1-C-2	施設整備	内地	福岡市	直接	—	建設	歩行者用シェルター整備	歩行者用シェルター整備	博多港・博多ふ頭地区	○		

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		港湾施設の整備を実施することにより、「国際物流」「観光・交流」及び「環境」、さらには「防災・安全」の面において、港湾機能の充実・強化が図られた。			
II 定量的指標の達成状況	指標①（国際海上コンテナ貨物取扱量）	最終目標値	100万TEU	目標値と実績値に差が出た 要因	アイランドシティコンテナターミナルと背後を結ぶ臨港道路等整備を優先的に進めたことで、着実に増加してきたところであるが、世界経済や海運動向等の影響もあり、目標値の達成には至らなかった。しかし、全国の動向をH21からの増加率と比較すると博多港は大きく貨物取扱量を伸ばしている。
		最終実績値	91万TEU		
	指標②（外国航路船舶乗降人員）	最終目標値	100万人	目標値と実績値に差が出た 要因	日中、日韓関係の悪化やセウォル号の沈没事故(H26)などの影響により、平成26年時点においては、目標値の達成に至らなかった。平成27年の外航クルーズ船は250隻以上寄港する予定であり、乗降人員も100万人を超える見込みである。クルーズ船については、今後も更なる需要の拡大が見込まれており、外国航路船舶乗降人員の増加が想定される。
		最終実績値	87万人		
	指標③（エコパークゾーンの整備（自然と人が共生する自然環境の保全創造や水辺環境の創出））	最終目標値	25ha	目標値と実績値に差が出た 要因	水と緑に囲まれた快適なまちづくりのために必要な緑地等整備や生きもののすみやすい環境を創出するためのアマモ場造成を計画しており、限られた予算のなかで整備を進めたが、目標達成に至らなかった。
		最終実績値	23ha		
	指標④（港湾施設の改良等により有効活用が図られた施設数）	最終目標値	44	目標値と実績値に差が出た 要因	緊急性、重要性を考慮した、優先順位を踏まえ、限られた予算のなかで港湾施設の改良を行ったが、目標値の達成に至らなかった。
		最終実績値	17		
	指標⑤（長寿命化計画の策定）	最終目標値	99	目標値と実績値に差が出た 要因	既存施設を含め、平成26年度までに整備が完了した95施設については、長寿命化計画を策定した。整備中の4施設については、整備完了後に長寿命化計画を策定する予定である。
		最終実績値	95		

3. 特記事項（今後の方針等）

博多港は、これまでも背後の市民生活や経済活動を支える基盤として重要な役割を果たしており、今後も、アジアの成長と活力を取り込む日本の拠点港を目指していくため、引き続き、「国際物流」「観光・交流」及び「環境」、さらには「防災・安全」の面において、港湾機能の充実・強化に取り組んでいく。